

陸奥新報

6月29日
月曜日

©2020 陸奥新報社

036-8356 弘前市下白銀町2の1 ☎0172-34-3111(代表) www.mutusinpou.co.jp

ブナの森を復活へ

国有林で植樹イベント

鯉ヶ沢

ブナの森を復活させよう。鯉ヶ沢町の町道赤石深流線と主要地方道岩崎西目屋弘前線(白神ライン)交差点近くの赤石川上流域にある国有林で28日、「第18回白神山ブナ植樹フェスタ in 赤石川」(陸奥新報社後援)と題した植樹イベントが開かれ、参加者約20人はブナの苗木を植え付け、心地よい汗を流した。

イベントはNPO法



人白神山地を守る会(水井雄人代表)など

主催。過去、ブナを伐採してスギを植樹した

国有林に、ブナの苗木を新たに植え付け混合林を形成、将来的にブナの森の復元・再生を図る狙いだ。

昨夏、赤石深流線が開通したことから、5年ぶりに同線からの入

山ルートとなったが、前回約100人を数えた参加者は、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ県内のみとされたため、弘前市や青森市などの20人程度にとどまった。

現地に着いた参加者は約3時に成長したブナの苗木(7年木)を手にも、土を掘った後に丁寧に植え付け、ブナの森復活に願いを込めた。青森市から参加した短大1年の武田莉奈さん(18)は「土を掘るのが大変だったけど楽しかった。また、参加してみたい」と話した。

(下山高秋)

丁寧に穴を掘り、植樹作業に汗を流す参加者